



附属幼稚園が心地よい居場所になりますように

副園長 高田和宜

入園、進級おめでとうございます！

令和5年度新学期が始まって3週間目に入りました。お子様や保護者の皆様も少しずつ新しい学年やクラスの生活に慣れたのでしょうか？「附属幼稚園に通えてよかった」と感じていただけるよう職員一同、取り組んで参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、幼児教育は「環境による教育」と言われます。幼児期は一方向的に教え込むよりも興味関心をもったことに主体的にじっくりかかわることの方が学びや育ちの効果が高いのです。そこで主体的に学び、育っていくよう「遊びこめる」環境の充実が求められます。

入園、進級後のこの頃は、まず園の生活やクラスのお友達に慣れ、その子なりの楽しい生活が見つかるような環境づくりを心がけています。遊びの場や教材・用具などの配置や数、取り組み方など、年齢に応じて計画的に（カリキュラムに基づいて）行っています。計画したものと子どもたちの実態が合っているかを検証しながら保育を進めるため、どのように遊んでいたか、どのように友達とかかわっていたか、どんな気づきや学びがあったかなど、保育後教職員みんなで一日の様子を伝え合いながら振り返り、翌日の準備を行っています。先生たちが準備した教材や用具、遊ぶ場と同様に子どもたちの生活を豊かにいてくれるものに、園の植物や生き物たちがいます。園庭の花で色水遊びをしたり、カエルを捕まえて飼ったり、ダンゴムシを探したり、ウサギに餌をあげたりする姿の中に「楽しさ・おもしろさ・不思議さ」を友達と共有して遊びの中で学び育っていることがとらえられます。「森の幼稚園をめざして」を合言葉にさらなる環境の充実をすすめ、附属幼稚園が園にかかわるみんなにとって心地よい居場所となりますようにと願っています。



この色水はね、たしか紫の葉を3枚と黄色の葉が1枚でできたよ。やってみる？



草のところにいたのは緑だったけど、このカエルは少し茶色だぞ、見てみて。



この下に絶対いるよ。ほらね、でもなんかちっこいぞ！



この葉っぱ食べるよ。僕も食べさせてあげる。かわいいね！